

楠河地区タウンミーティング開催報告

【日 時】 令和5年2月10日（金）19：30～21：00 【場 所】 楠河公民館 大会議室

【参加者】 楠河地区連合自治会長など全14人、傍聴者2人

市長、公民館長、危機管理監、危機管理課長、危機管理副課長

【次 第】 1 開会 2 挨拶（楠河地区連合自治会長）

3 市長挨拶・事業説明（別添資料）

4 テーマ「防災・減災」

5 まとめ・閉会

概 要

【自治会長挨拶】

防災対策事業について、皆さんの忌憚のないご意見をお聴かせいただきたい。

I 災害を知る！（災害想定等）

- ・政府の想定では、今後40年以内に南海トラフでマグニチュード8～9クラスの地震が発生する確率が90%程度。楠河地区では震度6強及び震度6弱の揺れが想定される。
- ・西条市への+1mの津波到達時間は222分後と言われているが、防波堤等の護岸施設が壊れ、潮位が高い時であればたちまち浸水することもあり得る。
- ・楠河地区では今治小松自動車道から海側の地域がほぼ浸水すると想定されるので、すぐに避難することがとても重要。
- ・河川の氾濫について、平成23年度に洪水氾濫危険区域図を作成済。大明神川氾濫時、楠河地区では今治小松自動車道と小向川に囲まれた地域が浸水する想定。小向川が氾濫した場合は、福成寺（庄内）から三芳、楠、河原津にかけて浸水すると想定される。北川が氾濫したら、JR予讃線の線路付近から国道196号まで北川の南の地域で0.5m未満の浸水区域が広がる想定。
- ・愛媛県が想定し得る最大規模の高潮が発生した場合、河原津から成福寺（楠）あたりまで浸水すると想定されている。
- ・市が公開しているハザードマップ(浸水が予想される区域や避難場所を地図上で示したものの)の確認や自分自身、家族の避難計画である「マイタイムライン」作成をしていただきたい。

参加者の発言要旨

市の発言要旨（及び対応）

避難場所の耐震性

楠河公民館・楠河小学校、河北会館が校区内の災害時緊急避難場所に指定されているが、耐震性は大丈夫か。
市が行う耐震工事は、国が推奨する耐震指標に基づく改修方法と異なっていると聞くが安全性は確かなのか。

大丈夫というのは、震度7くらいであっても、全く問題ないと解釈してよいのか。
もしくは、倒壊はしないまでも、崩れる手前のところであらうじて持ちこたえるというものか。

【楠河公民館】新耐震基準構造であり、安全性は確保されている。
【楠河小】本館校舎は新耐震。旧耐震の西校舎は平成25年、体育館は平成26年に耐震改修を実施している。これは、令和2年度の老朽度調査と建物診断により、改めて耐震基準値を満たしていることが確認されている。
【河北会館】旧耐震建物であったので、平成26年度に耐震補強済である。
市が実施しているSRF工法は柱をポリエステルの繊維で補強するものだが、地震が起こった場所で、この工法を使った建物の倒壊はなかったという事例報告もある。
いずれにしても古い施設だが、安心して使っていたきたい。

震度7の揺れにおいて、SRF工法での柱の補強有り・無しの状態を比較すると、補強のない柱は大破したが、補強したものは耐え抜いたという実験結果がある。
皆さんによりご理解いただくには、数字や根拠で示すことがいいと思うので、今後耐震性をわかりやすくお示しするようにしたい。

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
<p>文科省では学校の耐震強度はIS値（建物の耐震性能を示す指標）0.7以上を保つよう求めているが、楠河小はその基準を満たしているのか。</p>	<p>0.7以上で満たしている。</p>
<p>地震や土砂災害など複合的に災害が発生した場合、3カ所の指定避難場所も危険な状況になるかもしれない。 そのような時はどこに避難すればいいのか。</p>	<p>災害により指定避難場所（楠河小・公民館・河北会館）が危険な状況になった場合は、最寄りの受け入れ可能な避難所に避難・移動してもらう想定である。</p>
<p>避難所の備蓄</p>	
<p>避難所には平常時から水や食料があるのか。</p>	<p>5万食の水や食料を防災倉庫や西部支所等に保管している。 災害発生時に、避難状況を確認して避難所に配送するような段取りにしている。</p>
<p>高速道路敷地内への一時避難</p>	
<p>ハザードマップによると、校区内の幹線道路である国道196号線は浸水の深さが3～5m程度となっているので、垂直避難が考えられる。 命を守るために今治小松自動車道敷地内へ一時避難することは可能か。</p>	<p>敷地内はフェンスで覆われており、通常は中に入れない。 法面は崩落等の危険があるものの、何らかの理由で避難が遅れ、津波や高潮が目の前に迫ってきて命の危険を感じた時は、迷わずフェンスを乗り越えて構わない。</p>
<p>II 避難行動要支援者避難支援制度について</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害発生時に、自力で避難・移動が困難な高齢者、障がい者（＝避難行動要支援者）に関する情報を近隣住民が平常時から把握し、災害時の避難支援等の体制を構築するもの。 ・大規模災害発生時は大勢の人が一斉に救急車を要請するので、必ず自分のところに来るとは限らない。一番頼りになるのは近所の助け合いで、助け合いの一つとして、この支援制度を構築し、要支援者が安心して暮らしていける地域づくりにつなげていく。 <p>◆具体的な流れ（名簿作成・更新）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①市から地域へ、対象と思われる（高齢者や障がい者）名簿を提供し、地域の状況把握に活用してもらう ②①の名簿を参考にし、地域で連携して訪問の上「災害時の要支援者名簿」への登録同意の意思確認を行い、台帳作成を行う。 ③同意を得た台帳を市に提出し、これをもとに市が名簿を更新し、地域に提供する。 ④名簿を活用して、一人ひとりの避難支援方法を明確化し、日ごろの支援活動や防災訓練に活用いただく。 	
<p>名簿作成の進め方</p>	
<p>名簿づくりをするとなった時に、個人情報の扱いが難しい。この部分については、自治会だけで進めることは困難である。</p>	<p>確かに個人情報の問題があり、名簿に登録するには本人の同意を取る必要がある。中には、自身の障がいを知られたくないため、登録を断る人もいる。</p>
<p>要支援者の名簿作成に関する手続きについて、誰が誰に「同意」をとるのか。</p>	<p>基本的には地元の民生委員や自治会役員を中心に、手分けてして訪問し、同意確認をとっていただきたいと思う。</p>
<p>支援を必要とする本人が独居で認知症だった場合、親族が遠方にいる場合など、いろんなパターンが想定されるが、どのように動けばよいか。</p>	<p>本人の対応が難しい場合は代理の方、親族が遠い場合等は個別に相談させてほしい。</p>
<p>いずれにせよ、この制度について十分に詰めていかなければならないと思うので、改めて説明会をお願いし、質問するという形を取りたい。</p>	<p>改めて日程調整させてほしい。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
防災士の活用	
<p>楠河地区には30人を超える防災士がおり、そのうち市職員も多い。市全体でも1,000人超の防災士の登録があるようだが、防災士の活動をどう捉えているのか。各自治会との連携はどうか。</p>	<p>学校、自治会、家庭、会社など多くの場所に防災士がおり、防災に取り組むことで地域防災力の強化を図っている。 防災活動が活発な地域では自治会や防災士等様々な団体で自主防災組織が構成されており、自主防災組織主体で毎年防災訓練や避難所開設・運営訓練等を実施し、訓練等の活動を通じて組織間の連携を深めている。</p>
<p>防災士に対する資金はなく、連合自治会や市役所にもお願いしたが、援助できないと言われた。何かよい方法はないだろうか。</p>	<p>概ね校区単位での防災訓練等の実施にあたり、自主防災組織に対して上限10万円/年の活動補助がある。令和5年度からは地区防災士会での訓練等も対象となるので、ぜひ活用していただきたい。</p>
<p>補助金活用の手続きは、事前に行うものか。活動後か？</p>	<p>事前に活動内容等について申請をしていただき、市の確認後に実施するという流れになる。そして、実施後にかかった費用等について請求してもらう形になる。</p>
<p>避難所では、要支援者を含めた高齢者や住民個人を特定しづらい。住所や連絡先、かかりつけの病院や処方されている薬の情報等は市が提供してくれるのか。</p>	<p>例えば避難者に持病がある、アレルギーがあるという情報を市では把握していないため、避難所で本人または家族等から申し出ていただきたい。</p>
防災意識の向上	
<p>防災は取り組むべき事項だが、関心が薄い。意識の問題だと思うが、きっかけが必要だと思う。</p>	<p>幸いにもこの地域ではここ何年も大きな災害が発生していないので防災意識が薄れてきている。 学校、自治会、家庭、会社など多くの場所に防災士がおり、防災に取り組むことで地域防災力の強化を図っていききたい。 時代の変化とともに、これまでと同じようにできないことも増えてきた。各団体の役員の負担も軽くしていかなければならない。 地域の課題をみんなで解決していく。市職員も一緒にやっていく。</p>
<p>50年以上前、六軒地区では台風で裏山が崩れた。民家が押し流され、一人亡くなった。当時、土砂降りの暗がりの中救助に向かった父のことが心配で、家で待つ自分もとても怖かったことを記憶している。 楠河には山も川もあるので、災害が起きる可能性も十分考えられる。 もしもの時に動けるように、自治会もなんとか形を作り上げていきたい。</p>	
<p>各種公民館活動に、市職員、消防団、市議会議員の皆さんにはなかなか参加してもらえない。 会合等にも積極的に参加して、地域のリーダーシップをとってほしい。</p>	
砂防ダムの整備	
<p>成福寺・六軒地区のあたりに砂防ダムが建設されるという話を聞いた。どのあたりに、どのように設置するのか。工事が始まると色々な形で交通の規制が出てくるだろうから、確認したい。</p>	<p>砂防ダムは災害時に一定の効果を見込める。設置場所について、直接影響が及ぶ地区（土砂災害警戒区域）に対して県が説明しているとしているが、詳細を県に確認して折り返す。</p>
<p>住民説明会はしてないものの、地権者に対する説明はしたと聞いている。</p>	<p>【後日対応】 県の砂防ダム建設事業については、測量等現地調査済で、これから用地買収に入るところである。当該関係者には説明済である旨を市職員から発言者に説明済。</p>
<p>六軒地区は、県から書面にて説明を受けた。</p>	

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
その他：楠浜北条線の整備の進捗	
<p>楠浜北条線の計画路線の用地は既に買収済であるが、工事が進んでいないようである。 今後の計画を示してほしい。</p>	<p>J R予讃線の高架橋を含む県道徳能伊予三芳停車場線から市道木舟久ヶ坪線までは令和5年度中に部分供用を行う予定。 残る国道196号までの区間については、令和6年度以降に工事を予定している。</p>
<p>【まとめ】</p> <p><市長> 地域づくり、特に防災面では人と人のつながりが大切であり、縦でなく横の連携が必要である。楠河に住んでよかったと言ってもらえるよう、我々も努力していく。 <連合自治会長>自治会の加入率も上げていきたいが、加入の有無に関わらず情報の共有を図り、地区の実情に応じた予防策を進めて、地区の防災力を高めていきたい。</p> <p><当日の様子></p>	

